
無意識にあなたの肩を引き寄せて乱暴なキスをした。

トモミチ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無意識にあなたの肩を引き寄せて乱暴なキスをした。

【Nコード】

N5355C

【作者名】

トモミチ

【あらすじ】

主人公は報われないと分かっているにも愛を求めて今日も君を部屋に連れ込む。

（前書き）

多少性的描写あり。

報われない行いは辛いんだ

「ごめんね。」

いやだ

嫌だ イヤダ。

『無意識にあなたの肩を引き寄せて乱暴なキスをした。』

朝から降り止まない冷たい雨は、俺の心を残酷にさせた。

いや、拍車を駆けたと言っべきか。

もともと俺の心は残酷で

加えて、汚いんだ。

「・・・やだっ!!」

俺の真下で、大きな瞳が不安げに揺れた。

「止めっ・・・」

震える声が、どれほどの恐怖心を抱いているのかを物語る。

お前がいけないんだ。

こんな雨の日に、ノコノコ俺の前に現われて

そんな目で俺を見るから。

「・・・やだっ・・・ヤダやだ!!」

駄々をこねる子供みたいに首を振って、ありったけの力で俺の肩を押す。

ただでさえ俺と君には体格の差が目に見えるのに
組み敷かれても必死に抵抗する。

そういう君が余計

余計、俺を残酷にするんだ。

「・・・っ・・・ひっく・・・」

事が済めば俺の高ぶりも冷めて

汚れたシート、どうしようかなんて考えていたら

泣いていた君がふいに言った。

「・・・どんなに、ね」

横目でちらりと君を見る。

「カラダはアンタでいっぱいになっても」

ああこれ何回目だろ。

「心は・・・かわんないから」

あーあ。

振り向きもせず出ていく君。

どうせまた、俺が無理にここへ連れてきてしまっただろうけど

都度、変わらない君の気持ち。

報われない行いは辛いんだ。

こんなにも好きなのに。

気付けば雨のなか、俺は走ってて

傘もさしてない君を見つけて

ほとんど、無意識に

「・・・っ・・・」

あなたの肩を引き寄せて

乱暴なキスをした。

唇を離して、声にならない位小さく低く、君に言った。

「あきらめないから」

君の細いからだに出来た大きなアザ。

見ちゃった。

アザを作るような愛。

君が、俺が大嫌いな人に受けてる愛。

だから

俺はあきらめない。

シャワーみたいな雨に打たれて

ただ、君を見ていた。

君の黒い大きな瞳が揺れた。

（後書き）

あえて名無しです。「俺」は「君」を無理矢理・・・って感じてしたが、その最中に「君」の体にあザをみつけるという・・・最終的に「君」の心は揺らいじやってます笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5355c/>

無意識にあなたの肩を引き寄せて乱暴なキスをした。

2010年11月11日19時31分発行